



2022年3月期第3四半期 決算補足説明資料

2022年2月7日

スマート社会のその先へ 真空技術で支える豊かな未来

株式会社 昭和真空

証券コード：6384

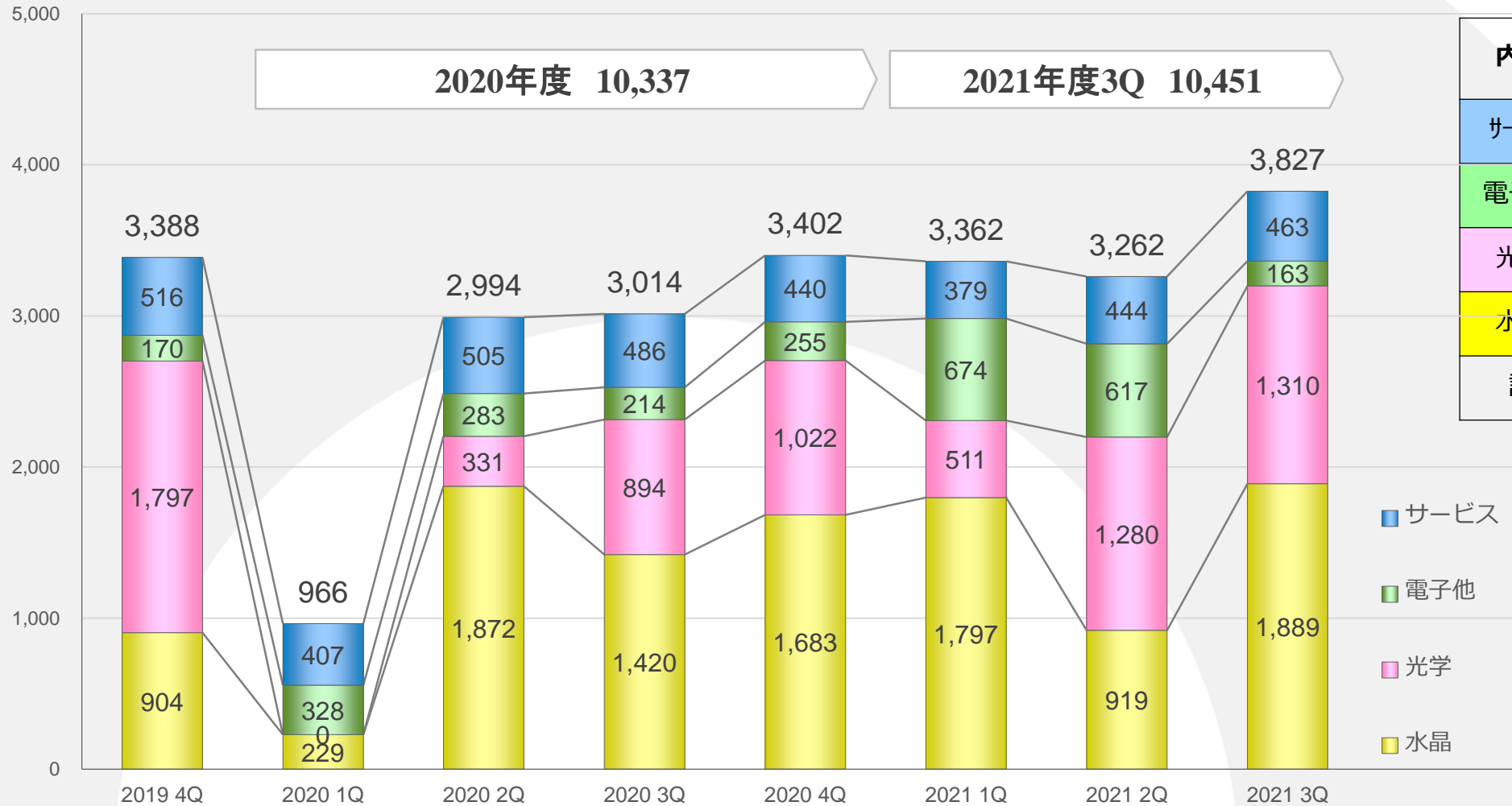
東証JASDAQ

第3四半期経営成績の概況 (連結)

(百万円)	2020年度		2021年度			
	3 Q 実績		3 Q 実績		対前期	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	率
受注高	6,975	—	10,451	—	3,476	49.8%
売上高	8,895	100.0%	8,331	100.0%	▲564	▲6.3%
営業利益	1,156	13.0%	1,105	13.3%	▲51	▲4.4%
経常利益	1,212	13.6%	1,119	13.4%	▲92	▲7.7%
当期純利益	828	9.3%	806	9.7%	▲22	▲2.7%

受注高業界別推移 (四半期、連結)

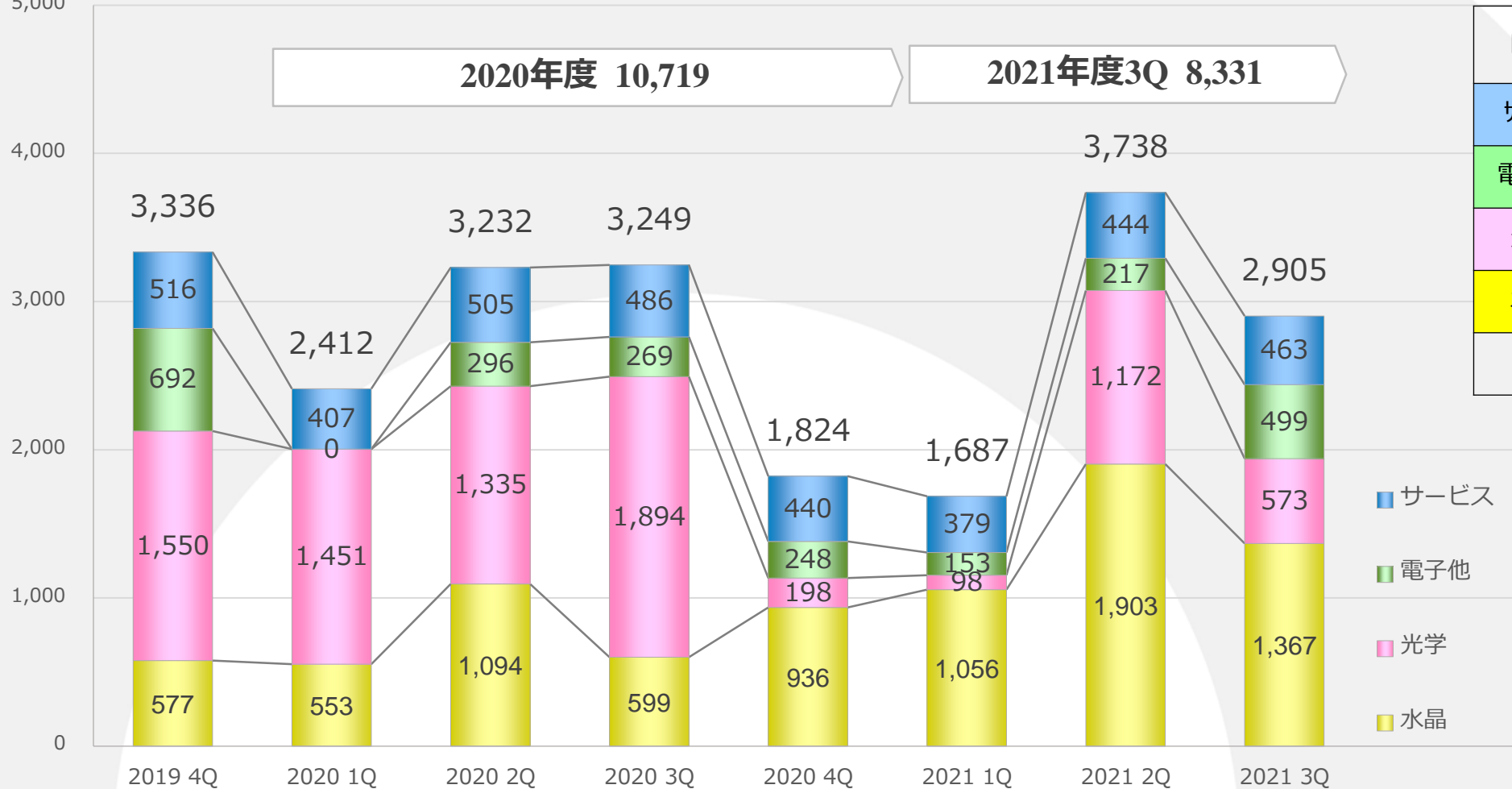
(単位：百万円)



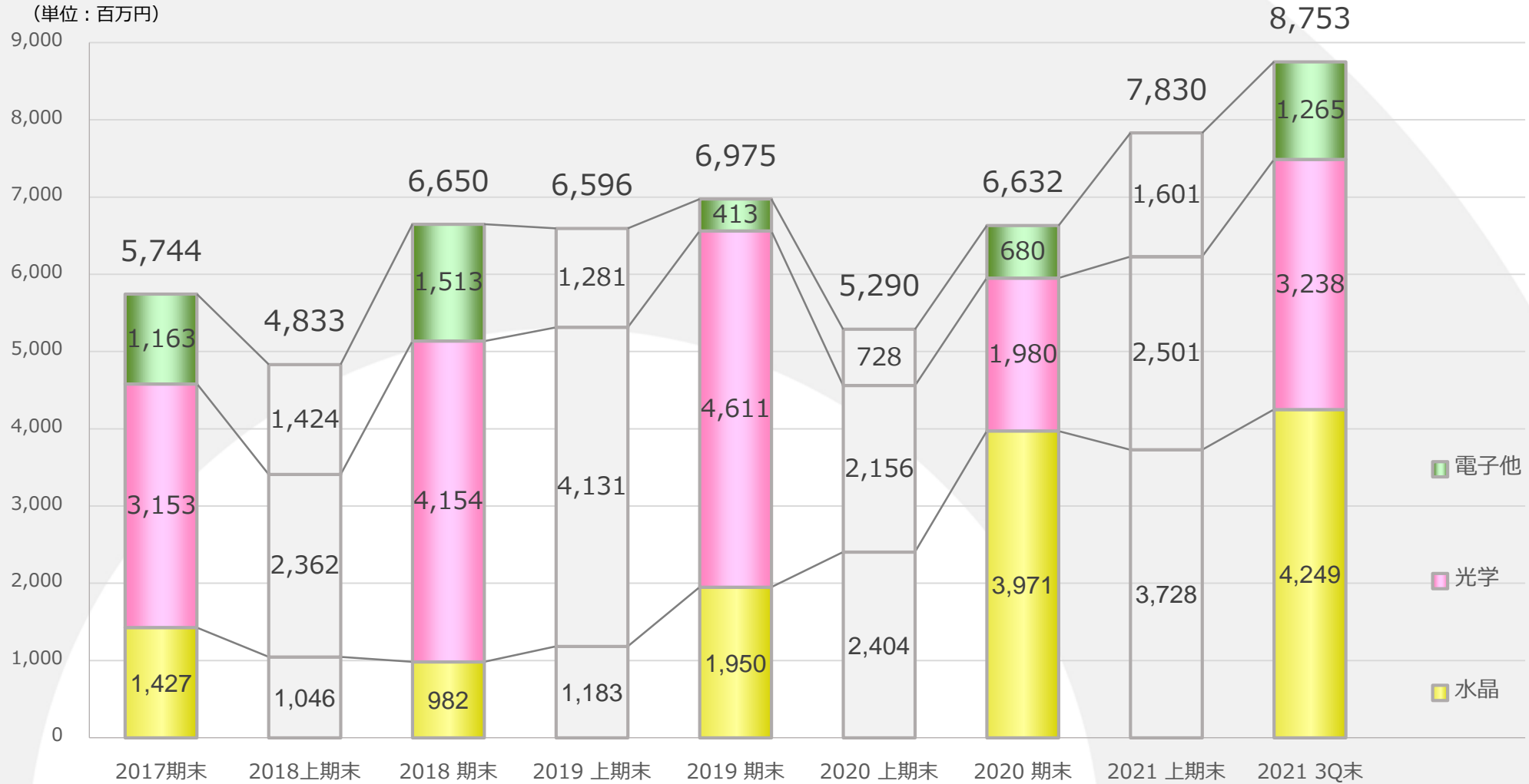
内訳	前年同期	2021 3Q累計
サービス	1,399	1,286
電子他	826	1,455
光学	1,226	3,102
水晶	3,522	4,606
計	6,975	10,451

売上高業界別推移 (四半期、連結)

(単位：百万円)
5,000



内訳	前年同期	2021 3Q累計
サービス	1,399	1,286
電子他	566	870
光学	4,681	1,845
水晶	2,248	4,327
計	8,895	8,331



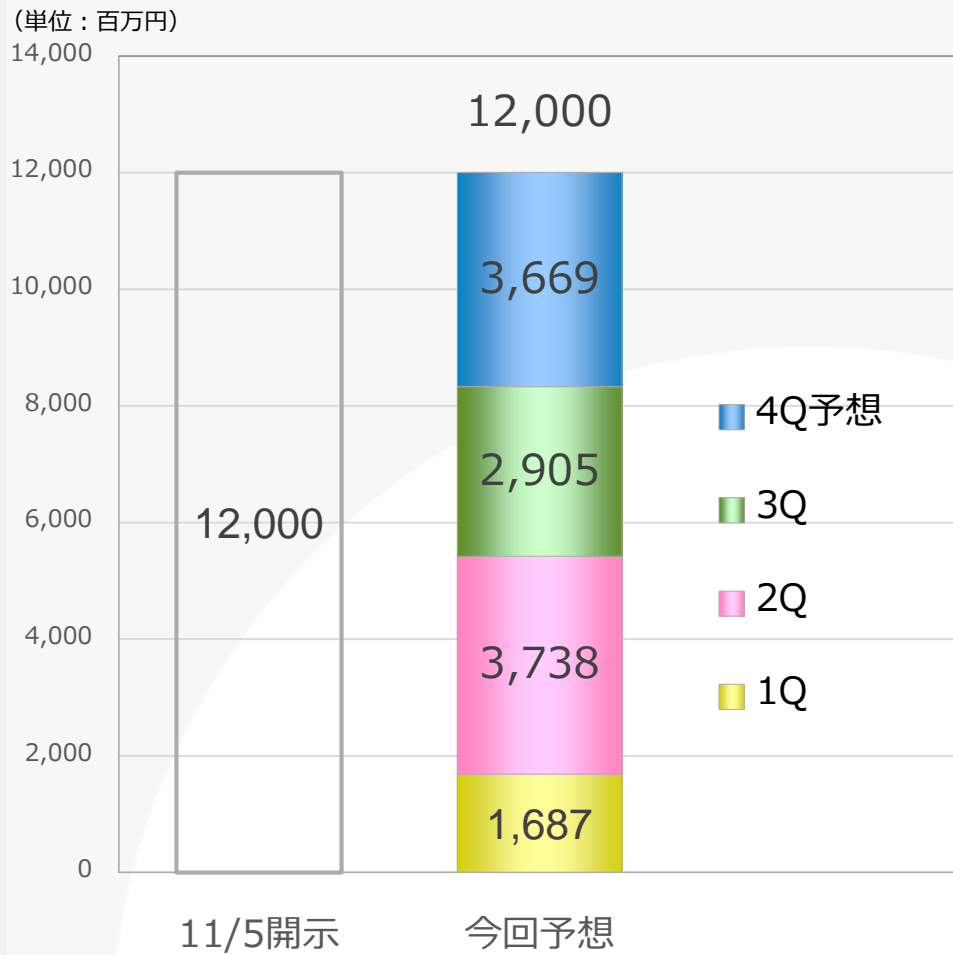
1. デバイスメーカーの次世代電子部品開発への取組姿勢は継続、サンプル成膜・依頼実験に対応
2. 5G普及、自動車の電装化、IoT関連の需要拡大や技術革新を背景とした国内外のデバイスメーカーの設備投資が継続（業界別、個社別に発注のタイミングは相違）
3. 新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」）の影響により海外渡航など行動制限の継続等により、平時に比べ一部事業活動に制約
4. 感染症の影響による海外への据付作業員出張制限や顧客からの納期変更要請などにより、納品スケジュールが4Q以降に後倒しとなった案件あり。
5. 戦略装置の開発および市場投入に向けた取組み継続
6. 装置製造に必要な資機材の調達環境悪化に対し、代替品切替えなどの対策を行い生産への影響を極力回避

業績の見通し及び今後の展望

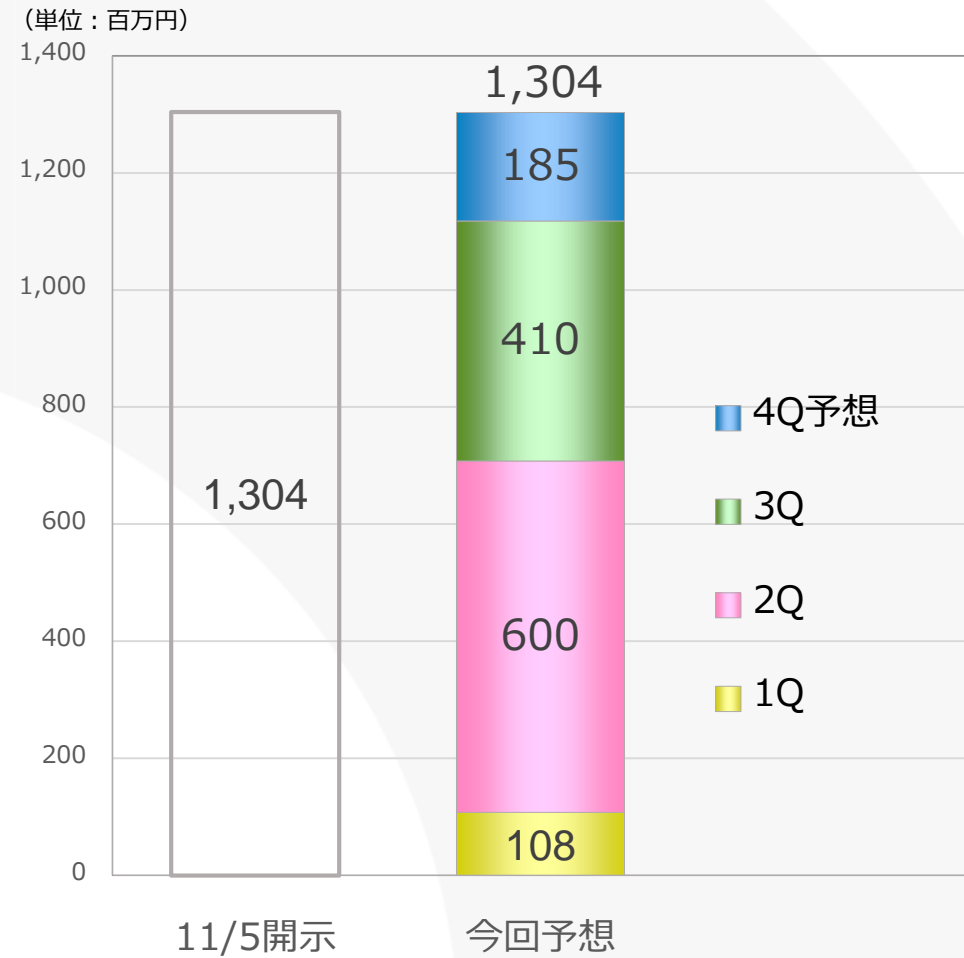
(百万円)				4Q 予想	通期 予想	直近開示 (11/5)
	上期 実績	3Q 実績	3Q累計 実績			
売上高	5,426	2,905	8,331	3,669	12,000	12,000
営業利益	706	399	1,105	212	1,317	1,317
経常利益	708	410	1,119	185	1,304	1,304
当期純利益	508	297	806	107	913	913

※業績予想の修正はありません。

売上高



経常利益



1. 戦略装置の開発と市場投入（各分野）
2. 顧客との共同開発の実施と成果の実現
3. 柔軟な生産体制と生産効率向上による今期売上予定案件の着実な納品
4. 品質管理体制の強化と予防的品質管理の確立
5. 海外子会社との連携強化（生産能力・据付業務の強化等）
6. 感染症への対応（継続実施）
地域社会、取引先、従業員への安全確保、生産体制の整備等
7. 装置製造に必要な資機材の長納期化への対応（継続実施）

《注意事項》

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おき願います。



株式会社 **昭和真空**
SHOWA SHINKU CO., LTD.